

貴女も受け継ぎませんか？

技のチカラ



★東予から輝くものづくり分野についてお話くださった講師の方々から、女子中高生の皆さんへのメッセージをまとめました★



(公財)えひめ東予産業創造センター 丸金 義夫

「全国1の特徴をもつ東予のものづくり」という題で東予地域の主要産業の一つである「プラント業界」について、紹介させて頂きました。東予地域は、製造業の出荷額で愛媛県の8割、四国の4割を占めています。そのうち紙産業、造船、タオル等は日本一の規模を持っています。プラントメンテナンス業は200社4500名の方が働いています。その活躍はテレビで「ゲンバ男子」として紹介されています。是非ご覧ください。また、女性も設計、システム、研究、検査、溶接、物流等いろいろな分野で活躍されています。温暖で自然豊か、歴史・祭りがあり、そこそこ都市化されている東予地域は、日本の中でも魅力ある地域の一つと思います。将来にわたり、この地域で活躍されることを期待しています。

有限会社 佐々木組 秋田 華佳



この度は、「貴女も貴男も受け継ぎませんか？技のチカラ」に参加させて頂きありがとうございました。私自身、とても貴重な経験をさせて頂きました。私は、以前、東京でシステムエンジニアの仕事をしていましたが、父の大けががきっかけで地元に戻り全く別の業種の鉄工所を手伝うようになりました。女性とは縁のない職業と思っていましたが、「ものづくり」は未来の価値を創る職業で女性も大いに活躍できる場だと実感しています。男性が創るモノは機能性重視が多いですが、女性目線で見ると細かさや見た目の良さも、これからの「ものづくり」には必要とされてきます。そんな目線を活かし、活躍の場を広げ、なりたい自分をイメージし、是非自分の未来を創ってください。

ピクセルソフトウェア株式会社 田坂 千枝子

私は、工場の操業日誌を電子化するシステムを開発しています。ほとんどの時間をプログラミングに費やしています。それが楽しいと感じているのは、プログラミングが好きだからです。どんな仕事にも達成感や、やりがいがありますが、好きな分野でなければそれは減ります。是非みなさん、いろいろなことに取り組んでみてください。そうすることで、興味のなかった事がすごく楽しいことだったと発見する機会が増えることとなります。そして将来、やりがいのある仕事にめぐり合っていて欲しいと思います。また、これから先、進路、就職、結婚とあらゆる場面で選択することとなります。前向き、後ろ向き、時には非難される事もありますが、何を選ぶかは自由です。全力で考え、後で振り返った時に満足できる選択をしてもらいたいと思います。





サヨリ商店街株式会社 千葉 小織

新居浜で縫製工場を運営している「サヨリ商店街株式会社」の代表取締役の千葉サヨリです。学生時代、理系に進んだ元祖リケジョですが、まさか10代の頃は縫製工場を営むとは想像だにしておりませんでした。

趣味で始めたネットショップが今に至っています。理系でしたのでPCに対しての抵抗感もなく、そして大好きだった海外の子供服をネットで売るといふ、好きなことで始めたお仕事です。商品が子供服から子供のダンスウェアになり、ジャンルも広がり、「自分たちで納得したものを作ろう!」ということで縫製工場になりました。好きなことは続きます。続ける限り失敗はありません。しぶとくやれば、いつかは成功へと導かれます。人生に無駄なことは一つもありません。どうぞ、常にチャレンジャーで、カッコいい生き方、カッコいい女性に成長されること、願っております。



株式会社 Hanoi Advanced Lab (HAL) 井上遼

私は、新居浜高専を卒業した後、Hanoi Advanced Lab というシステム開発会社でSE(システムエンジニア)として働いています。今ではインターネットがいつでもどこでも利用できることが当たり前になり、それに伴って、私たちSEの仕事も日常のいたるところで見られるようになりました。日々の努力や自身の成長を、自分が創ったものが世の中に発信された時に感じられ、大きな達成感と次の仕事へのモチベーションが生まれる。これが私がSEという仕事に感じるやりがいであり、皆さんに伝えたいSEの魅力です。同僚の女性もSEとして活躍しています。今後のITの発展とともに、ますます魅力的になっていくSEという仕事に、少しでも興味を持ってもらえたら嬉しいです。



新居浜高専 電気情報工学科 若林 誠

新居浜高専には5学科があり、様々な分野でのものづくり教育を行っています。電気情報工学科は私達の生活に欠かせない「電気・情報」の分野を主に扱っていますが、この「電気・情報」は今や一般家庭から宇宙開発まで、現代社会における人間活動全般を支えていると言っても過言ではありません。

「宇宙開発」と言うと大げさですが、これに関する宇宙工学を手軽に学ぶ機会があります。その一例が新居浜市内で開催される「缶サット甲子園・四国地方大会」です。「缶サット」とは、「空き缶サイズの模擬人工衛星」のことで、人工衛星に必要な機能(コンピュータ、電源、通信機、センサ等)を備えており、これを製作して競技に臨む過程で気軽に宇宙工学を学習・体験することができます。缶サット甲子園は、1校から1チーム(4名まで)が出場でき、優秀な成績を収めると全国大会に出場できます。あなたも「缶サット甲子園」から宇宙工学を始めませんか?

